

まちのわだい

自然とスポーツが一体化 〜どろんこソフトバレーボール大会〜

6月8日、田植え前の水田をコートにした、どろんこソフトバレーボール大会が、小町集落内で開催されました。

この大会は、地域の活性化と、自然に触れ合うことの素晴らしさを体験することを目的に、9年前から小町集落が取り組んでいます。この日は、町内をはじめ、遠くは松江市から、10チーム、およそ80人が参加し、熱戦を繰り広げました。

初めに予選が行われ、10チームが2つのリーグに分かれ、21点の1セットマッチで勝敗を競いました。その後、各リーグ上位1チームが決勝を行いました。大会に参加した選手たちは、泥まみれになりながら、優勝をめざしプレーしていました。



白熱するネット際の攻防



ボールめがけてスライディング

惜しくも準優勝

〜西部地区消防ポンプ操法大会〜

第56回鳥取県西部地区消防ポンプ操法大会が、6月15日鳥取県消防学校で開催され、伯耆町からポンプ車操法の部に第一分団が、小型ポンプ操法の部に第五分団が出場しました。

各分団とも、この日のために数か月間の練習を重ね、緊張感の張り詰める中、操法を行いました。競技の結果、第五分団が準優勝、第一分団が第三位に入賞しました。準優勝した第五分団は、7月6日に開催される県大会に出場します。県大会での活躍を期待します。

○ポンプ車操法の部

優勝 江府町消防団 第一分団
準優勝 大山町消防団 名和分団
第三位 伯耆町消防団 第一分団

○小型ポンプ操法の部

優勝 南部町消防団 西伯第一分団
準優勝 伯耆町消防団 第五分団



火点に向けて放水をする第1分団篠田団員



見事なホース展張をみせる第5分団員

全国各地の地ビールを楽しむ

〜地beerfest大山2014〜

全国の地ビールが集まった、「地beerfest大山2014」が、6月14日から2日間、大山桝水高原で開催され、大勢の地ビールファンで賑わいました。

今年で4年目の開催となった今回は、全国各地の地ビールメーカー11社、約60種類の地ビールが提供されました。地元伯耆町からは、今や全国的な地ビールブランドとなった、大山Gビールが出展されました。また、遠くは沖縄県からも出展され、それぞれの地域の特色ある地ビールを楽しむことができました。

参加者は、若者や外国人が多く、開放的な雰囲気の中、こだわりの地ビールをおいしそうに味わっていました。



全国各地の地ビールを味わう参加者



ライブ演奏が雰囲気を盛り上げる

自然と触れ合う楽しさを学ぶ

〜米フェスタ2014〜

米や農業への理解を深めるきっかけにしたいと米フェスタ2014おいしい米づくりトライアルが6月1日、丸山の「ふれあい交流田」で開かれ、約320人が参加しました。

今年で27回目を迎えるこの催しには、個人の参加に加えて、JAのアグリキッズのメンバーなどの参加もあり、大変にぎわいました。

米子田植え唄保存会の会員の歌声に乗せて、丸山集落宮農組合員の指導で、一列に並び約20アールの水田にコシヒカリなどの苗を植えていきました。

水田の中央には、大山の姿が水田の水面に逆さまに映った様子を模して台形の形でロープが張られ、ロープの内側に古代米を植えました。秋には紫の稲穂の「逆さ大山」が浮かび上がります。



豆綱に沿って苗を植える参加者



的にめがけて棧俵(米俵のふた)を投げるゲーム